



主力商品（乾燥カマボコ）

- 本社所在地：福島県いわき市
- 事業概要：カップラーメンの乾燥カマボコ・なると・乾燥工ビ・乾燥イカ等の乾燥具材・ふりかけ用キャラクターかまぼこの製造
- 常時使用する従業員：67名
(2025年3月期)
- 現在の売上高：28億円
(2025年3月期)
- 法人番号：8380001012486
- Web：http://www.eiyoh.co.jp

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
永谷 喜一郎

乾燥食品のスペシャリストとして、世界に安心・安全な製品をお届けする。

今般の管理棟建設を契機とし、次の時代への「攻めの姿勢」の足掛かりとする。その上で、先々、売上高100億円を目指し、様々なステークホルダーへの「安心・安全」を提供したい。具体的には、顧客への確実な商品提供を実現するとともに、福島県いわき市の震災復興の姿を見せ、当社従業員にも就業環境の整備を通じたモチベーション向上への意欲を高めることに繋げたい。

2052年売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2052年の売上高100億円達成に向け、新商品投入等で年率5%程度の成長を目指す。

課題

- ・既存主取引先の動向次第で業績がブレる。
- ・株主に創業家が関わっていることから、協調体制を築く必要がある。
- ・タイ工場の業績が不調。については、その採算改善が課題。

2052年売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

売上高100億円達成に向け、当社の「成型技術」と「乾燥技術」は国内大手食品メーカー（N食品、S食品など）を通して、世界から高く評価されており、今回は以下の事業推進により新たな成長を目指す。次の具体的措置を講じる。

1. 管理棟建設（今回申請）を通じた従業員の一体感醸成
2. 韓国工場の一層の充実、中国大連工場の立て直し、タイ工場の再建～生産体制の効率化を通じた体力増強
3. 新事業展開（例えば、印刷技術の工夫による売上増強）や既存先への拡販を通じた業績伸長

実施体制

- ・生産体制の充実や営業部隊の増強を図る。
- ・社内役員・従業員が一体となり、5W1Hの要領に則り、「誰がいつ迄に何をどの様にしてどうするのか」を管理する仕組みを構築する。
その上で、計画値との乖離が生じる場合には、関係者間でのミーティングを行い、総力を挙げてそのギャップを穴埋めするよう取り組む。

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

2052年売上高100億円実現に向けた具体的措置

- ・売上高100億円実現に向け、講じる措置のイメージは次の通り。
 1. 管理棟建設を通じた従業員の一体感醸成…現在、管理棟と生産工場は若干離れた場所に立地している。その所以も有る乎、製造部とそれ以外の部署との間にマインドのズレが目立つ。については、当社に勤務する全従業員が一体感を持って日々の職務に当たれるよう、まずは管理棟（口金製造部・営業部・品質保証室・開発部・管理部が入居）を生産工場に連結した配置とし、効率性を重視し、調和をもった配置に整える。
 2. 海外生産拠点においては、韓国工場の一層の充実、中国大連工場の立て直し、タイ工場の再建～生産体制の効率化を通じた体力増強…現在、韓国工場は現地指導者が確りしていることや市況の活況等を背景に業績は順調に推移している。そのため、2025年3月に韓国工場の現地指導者を福島県いわき市の本社工場並びに小名浜工場に短期間呼び寄せ、日本の生産工程をチェック。各種意見交換を行い、日本の生産現場で改善すべき事項の洗い出しを行った。一方、中国大連工場は過去の負の遺産の残滓の影響、且つ現地大手カップ麺メーカーの一挙手一投足に翻弄されてしまう現状にある。よって、現地生産体制を再構築する取り組みを始めている。また、タイ工場は東日本大震災の影響を慮り、現地に工場を建設したが、立地（バンコク市内から西側、車で2時間の距離、港から遠方）面のハンデも抱え、福島県の復興が予想より早かったことも有り、当初想定した通りの受注は無く、業績不調が続いている。そのため、現在はその再建策を模索しているところである。今後は、業績好調な韓国工場指導者に海外各生産拠点を定期巡回させ、稼働率等をチェックさせる体制（横展開）を図りたい。
 3. 国内大手食品メーカーとの新事業展開や既存先への拡販を通じた業績伸長…現在は顧客受注を中心に展開している。については、“攻めの姿勢”で、例えば、印刷技術の工夫を通じて、短納期や安価なニーズ先を掘り起こす。また、既存先にも新たな商品戦略・品揃えを提案し、当社業績伸長への寄与を図る。

